



SEKISUI HOUSE



BUSINESS REPORT

第 66 期 中間報告書 2016.2.1 >>> 2016.7.31

積水ハウス株式会社

証券コード：1928



環境省認定

エコ・ファースト企業

業界初の(エコ・ファースト企業)として環境大臣より認定を受けました。

SLOW
& SMART

の住まいづくり

「感性と感動の家づくり」その頂点へ

グラヴィス ステージ

Gravis Stage

グラヴィス・ステージ

上質を極めた SHAWOOD^{シャーウッド} 「新しい日本の邸宅」を提案

戸建住宅のフラッグシップモデル誕生

積水ハウスは今、戸建住宅の高級路線に注力し、より満足度の高い住まいを求め、お客様のニーズに応えています。ここでは、その取り組みの一環として商品化した戸建住宅のフラッグシップモデルによる提案をご紹介します。



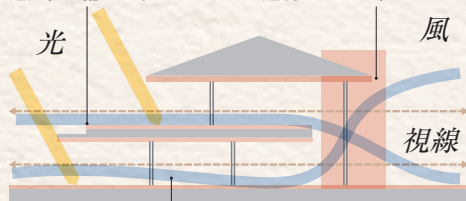
シャーウッド最高級商品「グラヴィス ステージ」

積水ハウスはシャーウッドの最高級商品として「新しい日本の邸宅」をテーマに、2016年8月に「グラヴィス ステージ」を発売しました。重厚かつ優美で趣ある佇まい、新開発の「クリアビューデザイン」による内外一体となった心安らぐ快適空間、木質感あふれる美しい外観など、家づくりの粋を集め、お客様一人ひとりにとっての新しい日本の邸宅を提案します。緩勾配の4寸屋根と横格子ルーバーバルコニーがゆったりと伸びやかな水平ラインを強調。陶版外壁「ペルバーン」や自然石貼りによって邸宅らしい陰影を備えた、優美で趣ある佇まいを演出します。



屋内外が緩やかに連続する開放的で心地良い空間を演出

新開発の空間デザイン「クリアビューデザイン」
透過性を備えた邸宅デザイン 透明感のある外壁デザイン



透き通る内外一体化デザイン

「クリアビューデザイン」は、屋内外の天井面と床面の仕上げ材と高さを揃えるとともに、天井高と同じ高さのサッシを設置することで、光や風、視線が透き通る邸宅らしい空間デザインです。大開口による四季を感じる豊かな暮らしを楽しみながら、消費エネルギーを大幅に削減し、エネルギー収支ゼロを目指す、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)「グリーンファースト ゼロ」にも対応しています。



「イズ・シリーズ」のフラッグシップモデル「イズ・ステージ」



中庭に面して設けた大開口から
明るい光が差し込むリビング



重厚感のあるオリジナル外壁
「ダイコンクリート」



「次世代に生き継ぐ家づくり」の至高 イズ・ステージ

鉄骨2階建住宅の主力商品「イズ・シリーズ」のフラッグシップモデル「イズ・ステージ」のモデル棟を関東「住まいの夢工場」内に新たに建築しました。

伸びやかな6寸勾配の大屋根と重厚な「ダイコンクリート」外壁が圧倒的な存在感を放つ外観と、オリジナル構法「NewBシステム」の高い設計自由度を活かした伸びやかな内部空間が特長です。キャッチフレーズ「人生になる家」にふさわしい至高の邸宅です。

第一回ウッドデザイン賞優秀賞 優秀賞 林野庁長官賞 受賞記念商品

Gravis Lian
グラヴィス リアン

グラヴィス リアン(凜庵)

2015年、国産ブランド材を柱と梁に使用した「シャード純国産材プレミアムモデル」が「第一回ウッドデザイン賞」優秀賞 林野庁長官賞を受賞しました。積水ハウスはこれを記念して2016年4月、受賞記念商品「グラヴィス リアン(凜庵)」を発売しました。主要構造部となる柱には、秋田杉、吉野杉、美作檜などの国産ブランド材を標準採用。陶版外壁「ベルバーン」の新柄「クシキボーダー」が趣ある「和」の外観を演出し、「真壁三連続開口」による自然と調和した開放空間により、スローリビングを提案しています。



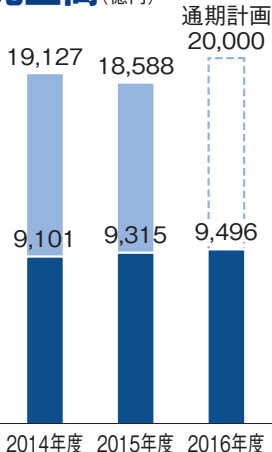
陶版外壁「ベルバーン」



「真壁三連続開口」

連結決算ハイライト

売上高 (億円)

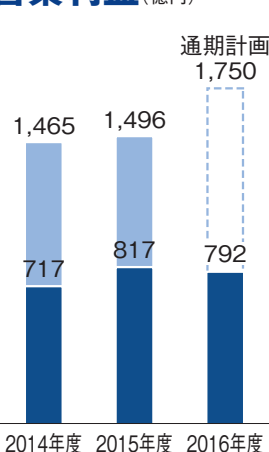


9,496 億円

前年同期比 +1.9%

“住”に特化した成長戦略が奏功し、3つのビジネスモデル全てで増収。第2四半期として過去最高の売上高を更新しました。

営業利益 (億円)

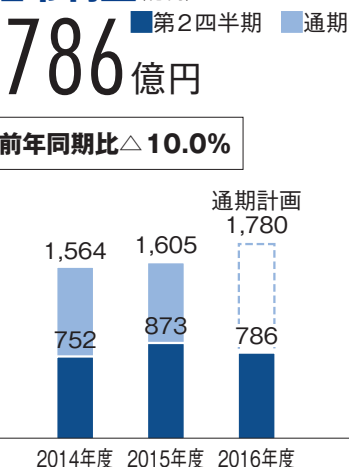


792 億円

前年同期比 △3.0%

営業利益は24億円の減益となりましたが、計画を大幅に上回る結果となりました。生産、物流、施工等、グループ力を活かした利益体質の強化を引き続き行い、請負型、ストック型で大幅に利益率を改善しました。

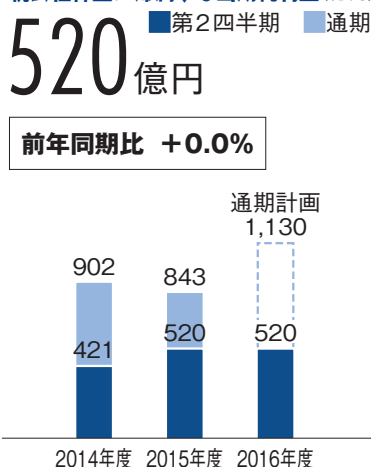
経常利益 (億円)



前年同期比△10.0%

持分法投資利益が前年同期比20億円増えましたが、円高の影響により為替差損が45億円発生しました。

親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)

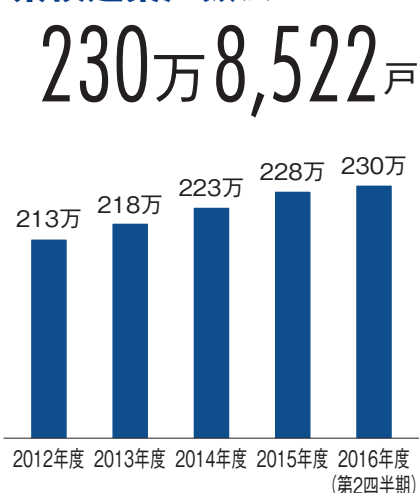


520 億円

前年同期比 +0.0%

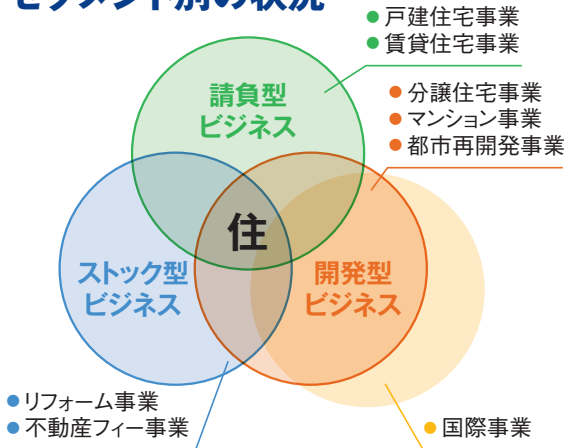
繰延税金資産の取崩しの減少や、法人税率変更等により、当期純利益は昨年と同水準、EPSは74.63円になりました。

累積建築戸数 (戸)

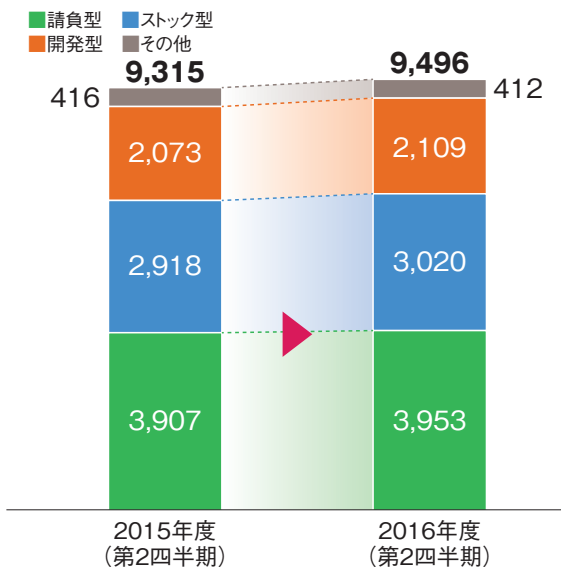


累積建築戸数は23,863戸増え、230万8,522戸となりました。

セグメント別の状況



事業別売上高 (億円)



請負型ビジネス

戸建住宅事業 1,884億円 (3.9%減)

昨年同期の受注減少の影響を受け減収となるものの、利益率改善で増益。受注も会社計画を上回る進捗となりました。

賃貸住宅事業 2,068億円 (6.3%増)

3・4階建て商品の販売戦略が奏功し増収増益。引き続き相続税対策等による都市部を中心としたニーズも強く、受注は堅調に推移しました。

ストック型ビジネス

リフォーム事業 684億円 (0.2%減)

売上高は昨年同水準となるものの、コスト削減等により利益率が改善し増益。引き続き大型リフォームの受注にフォーカスしてまいります。

不動産フィー事業 2,336億円 (4.6%増)

一括借り上げ物件の増加や、高い入居率の維持等により、増収増益となりました。

開発型ビジネス

分譲住宅事業 684億円 (7.2%減)

当上期は減収減益となりましたが、受注は前期を上回り、好調に推移しました。

マンション事業 316億円 (24.6%減)

前年同期に大型物件の引渡しがあったことにより減収減益となるものの、受注は前年を大きく上回り好調に推移しました。

都市再開発事業 772億円 (20.3%増)

リートへの物件売却等により大幅な増収。賃料収入も安定的に寄与しました。

国際事業 336億円 (22.6%増)

堅調な豪州、米国事業に加え、中国事業の収益寄与もあり、増収増益。下期は、米国の賃貸住宅開発物件の売却収益を計上する予定です。

■その他 412億円 (1.1%減)

エクステリア事業では増収となったものの、ソーラービジネスが減少し、前年同期比1.1%減の412億円となりました。

“住”関連ビジネスが着実に成長。
中期経営計画最終年度、
過去最高の収益を目指します。



代表取締役社長兼 COO
阿部 俊則

代表取締役会長兼 CEO
和田 勇

利益成長、株主還元を両輪に、「強み」を伸ばす、効率的な市場拡大へ。

「2014年度中期経営計画」が「住」関連ビジネスを重点課題に据えたことが功を奏し、事業領域の裾野を広げながら順調に推移しています。最終年度も、「成長」と「還元」を両輪に、株主の皆様のご期待に沿えるよう、より高い業績目標に向かって邁進します。引き続きご支援、どうぞよろしくお願ひします。

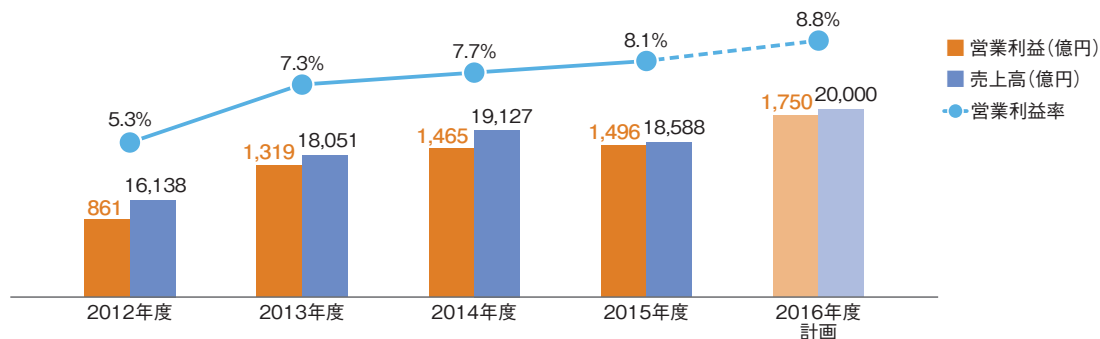
コア事業である「請負型ビジネス」の戸建住宅事業に関しては、積水ハウスブランドの強みを活かした付加価値の高い住まいの拡販を図りました。

「イズ・シリーズ」は、“次世代に住み継ぐ家づくり”を象徴す

る積水ハウスの鉄骨戸建住宅の主力商品です。積水ハウスが独自に開発したオリジナル外壁「ダインコンクリート」に新柄も加わり、発売以来30年以上経った今もなお、お客様から高い支持をいただいております。現在、鉄骨2階建住宅の約8割を占めるまでになりました。中でも、フラッグシップモデル「イズ・ステージ」は、デザイン価値の追求、業界最高峰の住まいを提供する最高級商品です。今後も、美しく重厚感のある外観、高品質、ストック価値をアピールし、中・高級路線の販売強化に結びつけます。

木造住宅「シャーウッド」には、今年8月、フラッグシップモ

業績の推移



デルとなる新商品「グラヴィス ステージ」が誕生しました。「新しい日本の邸宅」をテーマに、邸宅らしい優美で趣ある佇まい。新開発の「クリアビューデザイン」による光や風、視線が透き通る心安らぐ上質で快適な空間を実現する、シャウウッドの最高級商品です。これを機に、「私という家」を「シャウウッド」の新キャッチフレーズにしました。このお客様一人ひとりのご満足をデザインする設計思想を訴求し、積極的な拡販を図ります。高い競争力を持つオリジナル陶版外壁「ベルバーン」がその後押しをすることはいうまでもありません。

好調な賃貸住宅事業については、都市部を中心としたエリアマーケティングが奏功し、3・4階建を中心に、受注は好調に推移しています。4階建ての重量鉄骨造「βシステム構法」で取得した「型式適合認定」「型式部材等製造者認証」を有効に機能させながら、“多層階による多様な価値の提案”を更に強化してまいります。つまり、積水ハウスが堅持してきた中・高級路線を軸にエリアマーケティング展開を戦略的に組み合わせ、圧倒的な質的競争力、営業ノウハウを最大限に生かしながら、効率的な市場拡大を目指すということです。

安定成長を維持しながら、 新たなビジネスモデルを構築する。

「ストック型ビジネス」は、今後も、リフォーム、リノベーション事業の拡充が重点テーマです。ここでも、積水ハウスには大きな武器があります。自社戸建住宅に関する「積水ハウスリフォーム」、賃貸住宅シャウメゾンの「積和不動産」。そして、マンションを含め、あらゆるリフォームに対応可能な「積和建設」。積水ハウスには、お客様の多種多様なご要望

に、柔軟に、ワンストップで対応できる体制が整っています。重要なのは、これらの単なる数字の足し算ではなく、グループ連携を強化することで、グループ各社の「強み」の掛け算が生まれるということです。成長余力の多いこの分野で、より機動力のある営業展開を推進する計画です。不動産フィー事業に関しましても、エリア特性にきめ細かく対応しながら高い入居率を維持する施策を進めます。

「開発型ビジネス」の新しい話題は、今年6月、東京・赤坂で高級サービスアパートメント事業を展開することをシンガポールのフレイザーズ社と合意したことです。増加する上質なホテルニーズに対応し、ビジネスや観光目的の長期滞在を想定した高級なサービスアパートメントの提案。2017年夏に着工し、東京オリンピックが開催される2020年春の開業を予定しています。

積水ハウスとフレイザーズ社は、オーストラリア、シドニーで世界的な建築賞を受賞した「セントラルパーク」の開発など、共同事業で既に多くの実績を持っています。そうした意味で、「国際事業」での成果が、国内での「開発型ビジネス」で新たな花を咲かせるひとつの事例になるといえます。グローバル展開を進める中で、良好なパートナー関係にある海外企業とのコラボレーションは、積水ハウスの今後の成長戦略に新たな可能性を与えることになると考えています。

「請負型ビジネス」「ストック型ビジネス」「開発型ビジネス」の収益構造に目を向けると、全体の約4割を「請負型ビジネス」が占め、「ストック型ビジネス」「開発型ビジネス」が残りを2分するという、よりバランスの取れた体制が整ってきたことがわかります。戸建住宅を中心とした「請負型ビジネス」という一本柱の経営から、3本の柱に支えられる積水ハウスへ。これは大きな進化です。また、「請負型ビジネス」の中で賃貸住宅の収益が5割を超えたことも、安定成長の推進基盤になっていま





す。今後、この3本の柱をより太くすることはもちろん、「住」関連ビジネス」を基本に、新たな柱、新たなビジネスモデルを立ち上げ、時代を先取りする積極果敢な挑戦を続けます。

接点が拡大し続ける社会課題と住宅産業。会社への評価、国の政策も追い風に。

「住宅は社会課題解決の中心にある。」積水ハウスが「住」関連ビジネス」に注力するのは、そうした社会的な背景があるからです。そして、住宅と社会課題の接点は、ますます拡大し、深化しています。あらゆるモノがインターネットとつながる「IoT（インターネット・オブ・シングス）」も、そのプラットホームになるのは住宅です。「IoT技術を、住宅にどう取り入れるか?」ではなく、「IoT社会を、住宅産業がどうリードしていくか?」という発想で、革新的な社会の変化にも主体的に関わってまいります。

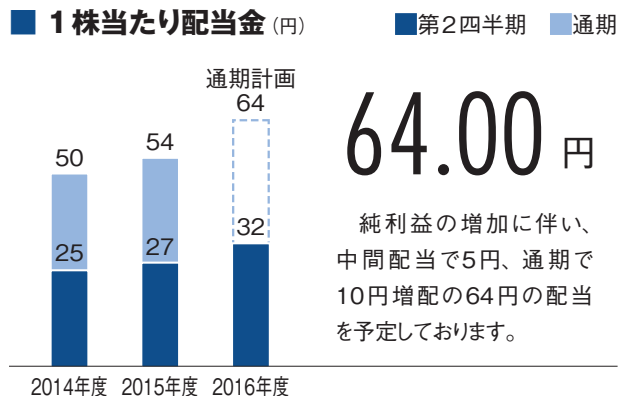
国の政策面からの追い風もあります。「地方創生」が本格化しつつある中、地方の活性化と住環境整備の関係は密接です。住宅の省エネリノベーション促進、3世代同居に対応した良質な住宅整備の促進策などを見ても、国の目指す方向と私たちのビジョンが同じベクトルにあることがわかります。急増するインバウンド需要に関しても、「住」関連ビジネス」は、大きな可能性を秘めています。

一方で、積水ハウスは、経産省と東証が共同で創設した「攻めのIT経営銘柄」に2年連続で選定されました。また、女性活躍推進に優れた企業「なでしこ銘柄2016」には3度目の選定を受けました。いずれも、住宅・建設業界では唯一となります。月刊誌「日経WOMAN」などが発表した2016年版「女性が活躍する会社BEST100」で業種別第1位にランキ

ングされたというニュースもあります。住宅業界のリーディングカンパニーとして、社会的な責任を果たしながら、先駆的な施策を、企業への期待、評価に結びつける。こうした取り組みは、結果として業績向上にもつながります。

株主の皆様のご期待にもしっかりとお応えしてまいります。総還元性向は前期同様60%を確保し、資本効率の改善を進め、ROE（株主資本利益率）も引き続き10%以上の定着を目標とすることを、改めてお約束させていただきます。

「住宅は社会課題解決の中心にある。」「住まいから社会を変える。」こうした積水ハウスの考え方が、浸透、定着してきました。住宅産業のあり方そのものが、大転換しているともいえます。過去の常識にとらわれないプラス思考での成長へ。積水ハウスは、住宅産業の進化、存在価値の向上を牽引しながら、さらなる事業拡大を目指す決意です。引き続きご支援、よろしくお願いします。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2016年7月31日現在)	前期末 (2016年1月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,230,786	1,264,933
固定資産	783,654	764,861
有形固定資産	550,200	533,175
無形固定資産	13,879	14,779
投資その他の資産	219,573	216,905
資産合計	2,014,440	2,029,794
負債の部		
流動負債	679,963	735,376
固定負債	313,799	225,990
負債合計	993,763	961,366
純資産の部		
株主資本	952,524	936,667
資本金	202,591	202,591
資本剰余金	253,559	253,559
利益剰余金	530,050	498,094
自己株式	△ 33,676	△ 17,577
その他の包括利益累計額	57,966	121,028
新株予約権	659	622
非支配株主持分	9,526	10,108
純資産合計	1,020,677	1,068,428
負債純資産合計	2,014,440	2,029,794

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2016年2月1日から 2016年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2015年2月1日から 2015年7月31日まで)
売上高	949,622	931,572
売上原価	755,930	739,125
売上総利益	193,691	192,446
販売費及び一般管理費	114,424	110,733
営業利益	79,266	81,713
営業外収益	7,797	8,290
営業外費用	8,451	2,678
経常利益	78,612	87,325
特別利益	—	4,228
特別損失	338	3,986
税金等調整前四半期純利益	78,274	87,567
法人税等	25,856	35,120
非支配株主に帰属する四半期純利益	346	391
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,070	52,055

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2016年2月1日から 2016年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2015年2月1日から 2015年7月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,698	△ 4,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 59,204	△ 51,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,671	48,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7,450	△ 207
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 22,682	△ 8,350
現金及び現金同等物の期首残高	192,338	195,008
現金及び現金同等物の四半期末残高	169,655	186,657

NEWS FLASH

ニュースフラッシュ

築53年の住宅「セキスイハウスA型」が有形文化財に

プレハブ黎明期の姿を残す唯一の物件

積水ハウスが1963年に建築した住宅「山崎家及び臼井家別荘（セキスイハウスA型）」が、プレハブ住宅として初めて国の有形文化財（建造物）に登録されました。

軽井沢の別荘地に建てられた本物件は、1971年以降山崎家と臼井家が所有し、現在も避暑を主目的として使用されています。部屋だけでなく水周り設備を備えたプレハブ住宅であり、「国産工業化住宅」の第1号といえます。建築当初の仕様を残して現存する唯一の住宅であることから、戦後住宅業界の一側面を語るものとして評価され、今回の登録に至りました。本物件は、的確なメンテナンスにより価値を持ち続けるストック住宅の好例であり、230万戸を超える建築実績を持つ積水ハウスのまさに原点ともいえる物件です。



外観



内観

登録物件の概要

名称	山崎家及び臼井家別荘 (セキスイハウスA型)
所在地	長野県北佐久郡軽井沢町
登録日	2016年8月1日
建設年代	1963年(昭和38年)
構造及び形式	軽量鉄骨造平屋建、金属葺、 建築面積約34㎡
公開状況	非公開

マンションリノベーション「RENOVETTA®」を開始

プロダクトデザイナー・喜多俊之氏が監修

積水ハウスグループの施工会社である積和建設は、2016年4月、マンションリノベーションの事業強化・拡大の一環として、世界で活躍するプロダクトデザイナー・喜多俊之氏がデザイン監修するマンションリノベーション「RENOVETTA®（リノベッタ）」の販売を開始することとなりました。デザイナー・喜多俊之氏が提案する「リノベッタ」のこだわりは、家の真ん中に人が集まる広い空間をつくること。「リノベッタ」は、モノで溢れた日本の集合住宅に「すてきな暮らし」を取り戻す、新しいリノベーション・システムです。



喜多氏オリジナルデザインの組立式和室「障子結界庵」や壁面収納家具、可動式の「スライド間仕切り」などで、ライフスタイル、ライフステージに応じた「変化する空間」を提案します。喜多氏とのコラボレーションを通じて、こうした新たな魅力を物件に付加し、一次取得者や都心回帰する若い家族層やシニア層の中古マンション取得・リノベーションニーズに応えるとともに、マンションストックの有効活用と流通促進に寄与してまいります。

※RENOVETTA®は、株式会社喜多俊之デザイン研究所の登録商標です。



約70㎡の「リノベッタ」の例



組立式和室「障子結界庵」

赤坂で高級サービスアパートメント事業を展開

フレイザーズ社と共同で開発・運営

積水ハウスは2016年6月、フレイザーズ社(本社:シンガポール)と東京・赤坂における高級サービスアパートメント事業を展開することについて合意しました。フレイザーズ社は、アジアを中心に世界に展開するデベロッパーで、世界的な建築賞を受賞したオーストラリア・シドニーの「セントラルパーク」をはじめ、積水ハウスとは既に多くの共同事業の実績を上げています。

フレイザーズ社の最高級ブランドである「フレイザースイート」日本初進出という話題性の高いプロジェクトでもあり、住居・オフィスが並ぶ赤坂5丁目エリアにて、延床約15,000㎡を計画しており、インバウンド需要の拡大や、東京オリンピックに向けて増加が見込まれる上質かつ、多様な滞在需要に対応可能とし、ビジネスや観光目的の長期滞在を想定した高級なサービスを提案するもので、他にはない上質で豊かな安らぎの空間を実現します。



ホテルライクで高品質な空間を提供する居室



来訪者を出迎えるエントランスホール



お客様への提案でも進んでいるIT活用



女性管理職候補を養成する「ウイメンズ カレッジ」

「攻めのIT経営銘柄」「なでしこ銘柄」に連続選定

経産省・東証による高評価を継続的に獲得

積水ハウスは、経済産業省と東京証券取引所が共同で発表する2016年度「攻めのIT経営銘柄」に選定されました。今回選ばれた26銘柄のうち、建設業界では唯一の2年連続の選定となります。これは、優れた「攻めのIT経営」を積極的にに行い、中長期的な視点から企業価値の向上を重視する、投資家にとって魅力のある企業を対象とするもので、積水ハウスの、提案・生産・施工等における「邸情報の一元化」によるビッグデータ活用をベースとしたシステム構築をはじめ、これによるコストダウンの実現、ワークスタイルの変革、グループ全体での情報共有とその活用の意識定着等が評価された結果です。

また、積水ハウスは経済産業省と東京証券取引所が共同女性活躍推進に優れた企業を発表する「なでしこ銘柄2016」にも選定されており、2013年度、2015年度に続く3度目の選定は、住宅・建設業界では唯一となります。

積水ハウスは今後も、IoTやAIなど新技術を積極的に導入するなど付加価値向上につとめ、女性や多様な人材がキャリアアップできる職場環境を整えながら、事業を通じて、より社会に必要とされる企業を目指して取り組んでまいります。

被災地が笑顔を取り戻す日まで

新入社員による復興支援活動を継続実施

我が国に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から5年半が経過しました。積水ハウスは、震災直後からのオーナー様対応や義援金の寄付はもちろんのこと、2012年からは毎年、新入社員研修の一環として、被災地での復興支援活動を継続的に実施しています。研修中でのこの活動を通じて、新入社員一人ひとりが安全・安心な暮らしと住まいについて考え、住宅事業の役割と責務を心に刻んでいます。

新入社員による東日本大震災復興支援

5年間の活動を振り返る

活動に参加した新入社員は累計2,086人。
今後も復興の進展に伴い、年々変化する被災地のニーズに応え、積水ハウスならではの被災地支援を継続していきます。

2013年 参加人数 **460人**
参加人数 **566人**

仮設住宅支援をメインに昨年度に引き続き公園の整備・側溝清掃やビーチクリーンなどそれまで手が回っていなかった場所の復旧・整備を中心に活動を行いました。

2012年
参加人数 **347人**

4月より活動スタート。仮設住宅の支援をメインに物置づくりや側溝清掃・ゴミ捨て場の整備・子どもの遊び場づくりのための公園整備等日々の生活に関連した支援復旧活動が中心でした。

熊本地震災害復旧活動

今年4月に発生した熊本地震は、熊本県を中心に甚大な被害をもたらしました。県下には10,246棟の積水ハウスの住宅がありますが、地震による全壊・半壊はありませんでした。地震発生直後、九州営業本部に「連携対策本部」を、熊本に「現地対策本部」を設置しました。翌日には、山口工場から支援物資の第一便が到着。各地の社員、ハウス会などグループ体となって支援活動に努めました。オーナー様の日常生活を一日も早く取り戻すべく、今後も復旧・復興に向けた活動を進めていきます。

2016年
参加人数 **323人**

2015年に引き続き、仮設住宅の方の支援に注力しました。5年が経過し当社の活動を心待ちにしてくださる方も増えてきました。



2015年

参加人数 **390人**

完全に仮設住宅の支援にシフトしました。従来の仮設住宅清掃に加え、茶話会などのコミュニケーションが取れるイベントを増やし現地の方との交流を図りました。



パケツルレー方式による支援物資のトラックへの積み込み

株主様見学会のご報告

～関東「住まいの夢工場」、「エコ・ファースト パーク」編～

開催日時

2016年6月29日(水)



夢を・・・支える、広げる、形にする。

住まいの夢工場

株主の皆様へ積水ハウスの事業活動へのご理解を深めていただく機会として、関東「住まいの夢工場」、2015年に開設した「エコ・ファースト パーク」の見学会を開催いたしました。株主様見学会の開催は今回で5回目となります。遠方より多数の皆様にご参加いただきました当日の様子をご紹介します。

住まいの
夢工場



Be Tech館で 積水ハウスの鉄骨住宅を体験

安全・安心・快適な住まいを提供する、積水ハウスの鉄骨構造「ユニバーサルフレーム・システム」の強さのヒミツをご覧くださいました。

このほか、震度7の揺れを「耐震住宅」と「免震住宅」の実物で体感、サッシやガラスの違いで室温や結露を確かめることができる快適断熱についても体験いただきました。



「あしたの家」

エコ・
ファースト
パーク



「資源の泉」

2008年開催の洞爺湖サミットで世界に発信された近未来型エコ住宅を利用して先進の技術によって健康で快適な暮らしを提案する「あしたの家」や、資源をムダにしない家づくりを目指し、建築廃棄物を100%リサイクルする積水ハウスのゼロエミッションの取り組み「資源の泉」を見学しました。

「風の家」



IRプレゼン
テーション



見学終了後、積水ハウスの業績動向に関するプレゼンテーションを行いました。また、株主の皆様から様々なご質問・ご意見をいただくなど、積極的なコミュニケーションを図りました。

会社情報

会社概要

社名 積水ハウス株式会社
 設立年月日(実質上) 1960年8月1日
 本社 〒531-0076
 大阪市北区大淀中一丁目1番88号
 (梅田スカイビルタワーイースト)
 TEL.(06)6440-3111(代)
 資本金 2,025億9,120万円

役員一覧 (2016年7月31日現在)

代表取締役会長兼CEO	和田 勇	常務執行役員	三谷 和司
代表取締役社長兼COO	阿部 俊則	常務執行役員	岩田 晴幸
取締役副社長兼CFO兼副社長執行役員	稲垣 士郎	常務執行役員	赤松 大介
取締役副社長兼副社長執行役員	伊久 哲夫	常務執行役員	石田 建一
取締役	三枝 輝行	常務執行役員	尾形 則昭
取締役	涌井 史郎	常務執行役員	内山 和哉
取締役兼専務執行役員	内田 隆	常務執行役員	三浦 敏治
取締役兼専務執行役員	勝呂 文康	常務執行役員	石井 徹
取締役兼常務執行役員	西田 勲平	執行役員	石崎 道夫
取締役兼常務執行役員	堀内 容介	執行役員	山田 寿夫
取締役兼常務執行役員	仲井 嘉浩	執行役員	松島 雄一
常任監査役	和田 純夫	執行役員	黒田 章
常任監査役	吉田 憲五	執行役員	皆川 修
監査役	土肥 孝治	執行役員	島 貴利一
監査役	篠原 祥哲	執行役員	寺村 太志
監査役	國定 浩一	執行役員	上條 英之
常務執行役員	藤原 元彦	執行役員	畔柳 均
常務執行役員	中田 孝治	執行役員	小井 孝員
常務執行役員	芦田 登	執行役員	雨宮 豊
常務執行役員	佐藤 博之	執行役員	石井 正義

主な事業所

- 東京支社 〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目15番1号
(赤坂ガーデンシティ)
TEL.(03)5575-1700(代)
- 東北営業本部 〒980-0014
仙台市青葉区本町二丁目15番1号
(ルナール仙台)
TEL.(022)265-1705
- 東京営業本部 〒151-8070
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)5352-3200
- 東京シャーマン事業本部
〒151-8070
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)5352-3220
- 神奈川営業本部 〒220-8120
横浜市西区みなとみらい二丁目
2番1号(横浜ランドマークタワー)
TEL.(045)650-7311
- 埼玉営業本部 〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町一丁目
7番5号(ソニックシティビル)
TEL.(048)647-3931
- 東関東営業本部 〒261-7119
千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号
(WBGマリブイースト)
TEL.(043)350-1811
- 北関東営業本部 〒320-0811
宇都宮市大通り二丁目1番5号
(明治安田生命宇都宮大通りビル)
TEL.(028)636-6761
- 中部第一営業本部 〒450-6042
名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
(JRセントラルタワーズ)
TEL.(052)533-1637
- 中部第二営業本部 〒422-8067
静岡市駿河区南町18番1号
(サウスポット静岡)
TEL.(054)284-1222
- 西日本シャーマン事業本部
〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3456
- 関西第一営業本部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3645
- 関西第二営業本部 〒604-8186
京都市中京区烏丸通御池下る
梅屋町358番地
(アーバネックス御池ビル西館)
TEL.(075)211-6201
- 中国四国営業本部 〒731-0113
広島市安佐南区西原五丁目16番6号
(ケイ・ティビル)
TEL.(082)871-7701
- 九州営業本部 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前三丁目25番
21号(博多駅前ビジネスセンター)
TEL.(092)472-3211
- 国際事業部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビルタワーイースト)
TEL.(06)6440-3723
- 開発事業部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビルタワーイースト)
TEL.(06)6440-3565
- マンション事業本部 〒160-0023
東京都新宿区西新宿一丁目20番
2号(ホウライビル)
TEL.(03)6302-3621

IRカレンダー

2016年12月上旬 ●第3四半期決算発表

2017年3月上旬 ●決算発表

4月下旬 ●定時株主総会

●BUSINESS REPORT
(第66期報告書)送付

株式情報

株式の状況 (2016年7月31日現在)

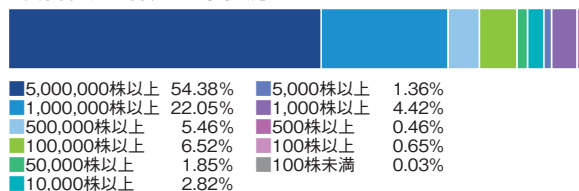
発行可能株式総数	1,978,281,000株
発行済株式の総数	709,683,466株
単元株数	100株
株主数	61,035名
株主1人当たり持株数	11,627株

大株主(上位10名)

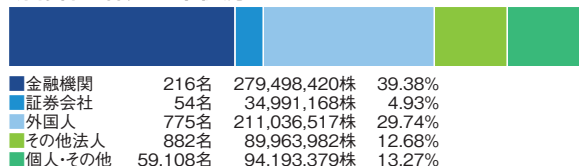
株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(株)	所有比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	51,497,200	7.26%
積水化学工業株式会社	47,168,727	6.65%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	38,703,100	5.45%
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,624,515	1.92%
積水ハウス育資会	12,516,398	1.76%
第一生命保険株式会社	12,158,730	1.71%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	10,238,400	1.44%
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	9,708,669	1.37%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	9,310,800	1.31%
上田八木短資株式会社	9,210,000	1.30%

※自己株式17,340,500株につきましては、上記の表に記載しておりません。

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月
基準日	期末配当金 1月31日 中間配当金 7月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第1部

各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

少額投資非課税口座(NISA口座)における 配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は、特別口座から証券会社等へ振替いただくことで「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができます。NISA口座等に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

※本株主メモは2016年7月時点の情報をもとに作成しております。

「新しくなった」

住ムフムラボ

暮らしの情報受信・研究開発拠点「住ムフムラボ」は、2016年4月に開設3周年を迎え、来館者数は45万人を突破しました。これを機に、常設展示をリニューアルし、3周年の記念企画やワークショップを開催しました。今後も一般生活者からなる「住ムフム研究メンバー」や他企業との「共創」による研究開発をさらに深め、住まい手にとっての価値ある生活提案や商品の研究開発を行ってまいります。

来場者の声

- 毎回、新しい発見があり楽しいです。
- 今まで深く考えたことがなかった「暮らし」について、いろいろ考えることができました。
- 子どもの目線でも色々考えられるようになってきているところがいいです。
- 息子と一緒に考えることで、目から鱗の発見があり、とても良い勉強になりました。



開設3周年を機に 常設展示をリニューアル

「かぞく」「いごごち」「いきかた」の3つのゾーンの中で、住まいへの気づきを得る「住ムフムWALL」を、皆さんの関心が高い12のテーマで再編。

体験やタッチパネルによる診断など各種コンテンツも充実させ、大人から子どもまで、より楽しみながら、住まいと暮らしの多彩なテーマを学べるようになりました。



かぞくのカタチ



いごごちのカタチ



いきかたのカタチ

SUMUFUMULAB



第10回キッズデザイン賞「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」受賞(積水ハウスは3部門で計10点の作品が受賞しています)。

子どもたちが、住むコトを学び、 わが家を考え、自主的な発見もうながす「住ムフムラボ」。

「自分のこと」「家族のこと」として自主的に体験・理解し、「自分らしさ」や「わが家らしさ」が発見できる。子どもの生きる力を伸ばす「子育て」を後押しする。そのために、「住ムフムラボ」では、子どもの目線でも楽しめる展示や、親子のコミュニケーションを促す体験プログラムも多く用意しています。

新しい目線での暮らしの考え方や、考えるきっかけを提供

自ら気づき、行動することで「自分ゴト」を発見!

親子で考え、高め合うことで「家族ゴト」を発見!

親子の新しい気づきから、オリジナルな暮らしが育まれていく



この3年間で、子どもたち自らが「住ムフムラボに行きたい」と望み、来館されたというご家族連れも随分増えてきました。子どもたちの興味や意欲を喚起する“フムフム”の仕掛けがあちこちにあり、親子で共に楽しみ学ぶ場としてもご好評いただいています。

グランフロント大阪(北館) ナレッジキャピタル4階 JR大阪駅、各線梅田駅より徒歩圏内
定休日▶水曜日・年末年始 開館時間▶10:00 - 19:00

入館無料

積水ハウス株式会社

本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中一丁目1番88号
梅田スカイビル タワーイースト
TEL.(06)6440-3111(代)
<http://www.sekisuihouse.co.jp/>



この報告書は、FSC® 認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。